

農業用水

昔、田植えの頃には、田んぼの水は近くの川や溜め池、または琵琶湖から引いていました。何時間もかけて蛇車で川から水を入れたり、濁水になると川上と川下で水争

いがあり、夜も寝ずに水の番をしたり、その苦労は農地改良をされて田んぼのバルブのcockをひねるだけの現在では、想像もつかないほど苛酷なものでした。

排水はいつも昔も琵琶湖に流れていますが、この排水に含まれる農薬や化学肥料が環境破壊として問題となっています。



▲川から田んぼへ水を入れる蛇車



▲種地先にある野田池 昭和初期に造られ、10馬力のポンプはいつも現役です。



▲栗見新田にある承水湖の水位を調節する近代的な水門



▲川の流出水量を調節する面戸(めんこ) 福堂